

2020年6月17日
株式会社前川製作所

**NewTon R-8000、NewTon F-800、NewTon C、NewTon Sを
モデルチェンジ**

株式会社前川製作所（本社：東京都江東区、社長：前川 真）は、高効率自然冷媒冷凍機 NewTon のシリーズのうち、「F 級冷蔵倉庫用 NewTon R-8000」「フリーザー用 NewTon F-800」、そして「C 級冷蔵倉庫・製氷工場用 NewTon C」、「アイスリンク用 NewTon S」の 4 機種をモデルチェンジし、本格的に販売を開始いたしました。

当社は、世界的に直面する地球環境問題を背景に、自然冷媒を使った省エネ型冷凍装置として 2007 年に冷蔵倉庫向けに「NewTon3000」を商品化し、2008 年より発売を開始。その後、効率・安全性・使いやすさを追求し、用途別のラインナップを充実させるとともに、各機種 3~4 年を目安にモデルチェンジを行っています。

今回のモデルチェンジは、2016 年に発表した第 3 世代の「NewTon R-3000 / R-6000」に採用した技術を踏襲したもので、軽量化に加え、メンテナンス性の向上、輸送負担の軽減などを実現しています。



新 NewTon R-8000

新モデルの主な特徴

NewTon R-8000 / NewTon F800

1. 小型、軽量化

＜前モデル＞

出荷重量：8,060kg

寸 法：L4,200 × W2,920 × H2650

＜新モデル＞

出荷重量：6,900kg

寸 法：L5,050 × W2,050 × H2,250

- ・前モデルに比べて約 14%軽量化、設置面積約 15%削減。
- ・寸法レイアウト変更により幅と高さを削減し、トラック輸送が可能に
(ケーシング仕様の場合も、トラック輸送可能)
- ・ユニットの高さを全体的に低く設計し、バルブ操作、保護装置点検などのメンテナンス性と安全性を向上

2. 耐久性向上

アンモニアラインの配管を一部鉄製から SUS 製に変更したことにより耐腐食性が向上

NewTon C / NewTon S

小型、軽量化

<前モデル>

出荷重量：6,120kg

寸 法：L4,040 ×W2,300×H2,650

<新モデル>

出荷重量：5,460 kg

寸法：L3,630 ×W2,050× H2,300

- ・前モデルに比べて約 11%軽量化、設置面積約 20%削減
- ・ユニットの高さを全体的に低く設計し、バルブ操作、保護装置点検などのメンテナンス性と安全性を向上

今後に向けて

2019 年 10 月、高効率自然冷媒冷凍機 NewTon は、シリーズ累計販売台数 2000 台^{※1}を達成いたしました。NewTon をご採用いただいたことにより、これまでに削減した CO2 排出量は、同様の設備に R-404A 冷媒機器を採用した場合に比べ、2019 年 12 月時点で 160 万 t-CO2^{※2}以上です。

現在、新型コロナウイルスの世界的蔓延がもたらした社会経済活動の制限によって、温室効果ガス排出量は一時的に減少傾向にあります。1 日あたりの世界の CO2 排出量は 4 月初旬で 2019 年の平均値より 17%減少という推計がイギリスなどの研究グループによって発表されており、日本における 1 日あたりの排出量は、昨年に比べて最大で 26.3%減少と試算されています。また、2020 年末まで制限がある程度続けば、ことし 1 年間の排出量は 7%程度の減少にとどまると予測されています。^{※3,4}

国連の「気候変動に関する政府間パネル (IPCC) では、世界の平均気温の上昇を 1.5 度未満に抑えるために、温室効果ガスの排出量を 2020 年から 2030 年の間毎年 7.6%減少させる必要があるとしており、現状では、世界的な経済活動の制限によって、ようやくこの削減目標の水準に達することができるといえます。

このことは、気温上昇を 1.5℃に抑えるために我々に課された目標が、非常に厳しいものであり、さらなる努力と技術革新が必要なことを示しています。

当社は、この人類共通の問題と向き合う産業用冷凍・冷蔵業界のお客様が、それぞれの使用環境や用途に応じて最適な冷却設備を構築し、環境に負荷をかけずに安定した経営を実現できるよう、NewTon をはじめとする各自然冷媒機器を今後も進化・展開させてまいります。

- ※1 圧縮機ベースで換算
- ※2 冷媒チャージ量ならびに、稼働時間を「冷蔵倉庫: 5,000hr/year」「フリーザー: 10hr/day、300 日」とした場合の電力消費削減量をもとに算出
- ※3 C. Le Quéré et al. Temporary reduction in daily global CO2 emissions during the COVID-19 forced confinement. *Nature Climate Change*. Published online May 19, 2020. doi:10.1038/s41558-020-0797-x.
- ※4 5月20日 NHK 報道 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200520/k10012436651000.html>

■お問い合わせ先

株式会社前川製作所 広報室／内山・三浦

〒135-8482 東京都江東区牡丹3丁目14番15号 TEL:03-3642-8185